

<h2>課題と目的</h2>	<p>従来、まちづくりや生活環境の保全といった観点から進められることの多かった<u>空き家対策</u>に、文化行政の<u>視点からのアプローチを導入</u>。空き家を、劇場や美術館などの既存の公共文化施設の活動を多面的に補完する「<u>オルタナティブスペース</u>」へと<u>転換</u>することで、新たな空き家の利活用モデルはもとより、文化振興の新たなモデルを構築し、発信する。</p>
<h2>取組内容</h2>	<p>① 空き家の概況調査とモデル物件の選定 ② イベント開催とアート系イベントスペースの調査</p>
<h2>成果</h2>	<p>㊦ 2022年度以降の事業基盤の整備    ㊧ 山口市内の空き家の概況把握    ㊨ モデル物件の選定 ㊩ イベントの開催によるプロジェクトメンバーの拡大 ㊪ 空き家を活用したアート系プロジェクトの概況把握</p>

### 空き家の概況調査とモデル物件の選定

取組内容 山口市役所のバックアップを受けながら、山口市内の空き家の概況を調査。それに基づいて、エリアの絞り込みや事業の展開予定地となるモデル物件の選定を進めた。

1



### 成果

#### 2022年度以降の事業基盤の整備

事業の推進に必要なステークホルダーとともに事業基盤を整備した。

ア

#### モデル物件の選定

フィールドワークや不動産市場の調査を軸に、モデル物件を選定した。

ウ

#### 山口市内の空き家の概況把握

山口市は2000年代以降、合併を重ねて地域が広がっており、エリアごとの地域特性が多様化、空き家を取り巻く状況も複雑化していることがわかった。

これをもとに事業展開を行うエリアの絞り込みを行い、物件の調査・選定を効率化した。

イ

### イベント開催と

### アート系イベントスペースの調査

取組内容 専門家によるレクチャーなどのイベント開催と、空き家を活用したアート系のイベントスペースの調査を実施。先行事例を整理した。

2



### 成果

#### イベント開催による

#### プロジェクトメンバーの拡大

イベントのたびに事業の説明会を開催し、行政関係者から主婦や学生まで、幅広いバックグラウンドの山口市民、約20名をプロジェクトメンバーとして確保した。今後はさらにプロジェクトメンバーを増やし、建物の改修やイベントの企画運営を共同で行っていく。

エ

#### 空き家を活用した

#### アート系プロジェクトの概況把握

2000年代以降、文化振興が観光振興とも結びつき、芸術祭などの大型文化イベントが増加した。これにともない、空き家を活用した取り組みも緩やかにではあるが現れており、都市から地方へと、その流れは広がっている。

オ